

## 特集 地域で子育て



(宿題、聞いてね／7月5日、大宝西ふれあい子ども広場)

- ・4月からの保育園・幼稚園・幼児園の入園案内… P 6～7
- ・9月は同和問題啓発強調月間 …… P 8
- ・「屋外広告物クリーンキャンペーン」を実施… P 10
- ・市長からのメッセージ …………… P 10
- ・りっとう再発見  
全国最大級の笠型木製品を発見～椿山古墳～… P 12

水曜日の放課後、大宝西小学校の体育館では、「大宝西ふれあい子ども広場」の宿題タイム。1年生の子どもたちが国語の教科書を地域の人に聞いてもらいながら音読中です。

毎週、水曜日の宿題はみんなと一緒に。ここには、先生がいっぱい！

ホームページアドレス

<http://www.city.ritto.lg.jp/>



いっとう/栗東



願いを込めた、七夕飾りが完成（大宝西ふれあい子ども広場）

**勉強や遊び。**  
放課後は、地域の人  
がいろいろなことを教えてくれる。

# 地域で子育て

「地域の子どもをみんなで育てよう」と家庭・小学校・地域が連携した取組みが市内各所で展開されています。子どもたちを見守る、たくさんのおしゃべりなまなざし。地域の皆さんが、子どもたちの成長を支えています。

**地域の大人がスタッフとして  
放課後、子どもたちを見守る**

市内7学区には、放課後、子どもたちの安全な居場所づくりを目指して開かれている場があります。ここで、スタッフとして子どもたちを見守っているのは、地域の皆さんです。

その一つとして、大宝西学区で開催されているのが「大宝西ふれあい子ども広場」。子ども広場は、毎週水曜日、15時～17時に活動しています。大宝西小学校の1～3年生40人が、小学校の体育館やコミュニティセンターで、自由な遊び、宿題、季節の行事、誕生会などで、放課後の楽しい時間を過ごしています。スタッフとして登録しているのは、15人。民生委員・児童委員、地域のボランティア、保護者スタッフの皆さんです。



①～④みんなで七夕の飾り付けをする楽しい時間。子どもたちの笑顔は共通の願い。



## 7月は、 季節行事「七夕」を楽しむ

7月5日、小学校の体育館で開かれた子ども広場では、最初の30分間、子どもたちの宿題をスタッフが見守ります。

宿題の後は、七夕にちなみ、七夕飾りづくり。一人ひとりが短冊に願いごとを書いて、みんなで笹に飾りました。「だれもが笑顔になれますように」「いいことがいっぱいおきますように」。参加者の願いでいっぱいになった笹は、コミュニティセンターに飾られました。

## 子ども・スタッフ・保護者 だれにとっても大切な場

保護者スタッフ代表の中村里美さんは、長女が小学1年生の時に、子ども広場に預け、翌年にスタッフとなって以来、6年間、関わり続けています。

「次女が5年生のため、子ども広場は卒業しているのですが、今もスタッフとして関わっています。民生委員さんやボランティアさんがおじいちゃん・おばあちゃんのような役割をしてくださっているのです。保護者である私は、お母さん役として接し、必要な時は、子どもをしかつたりもしています。保護者にとって、いつも子どもと一緒にいるのではなく、少し離れた時間もある

大切だと思っています。ここでは、子どもの普段と違った姿を見ることができ、新しい発見ができました。地域のつながりもできました。今、保護者スタッフが3人なので、もっと増えてほしいと願っています」と語ってくださいました。

また、3年生の福島巧さんは次のように話します。「地域の人と一緒にじゃんけんしたり、毎週楽しみにしています。よく遊んでくれるスタッフの奥原さんは、まるで本当のおじいちゃんのように。来年は4年生になるので、ここで遊べなくなることが寂しいです」。地域の力で開かれている、放課後の安全な居場所。関わるすべての人にとって、子ども広場は大切な場になっています。

孫が子ども広場でお世話になったのをきっかけに、8年前から関わっています。消極的な子には、積極的に声をかけるように心がけています。自宅の畑にいと、ここで出会った子が声をかけてくれることもあり、うれしいです。  
奥原庄吾さん（72歳）

## 見守る スタッフ

今回初めて参加しましたが、子どもたちの学びや遊びを見守りながら、とても楽しい時間でした。まるで昔の寺子屋のようで、地域の絆が深まる素晴らしい場だと思います。  
小林嘉代子さん（65歳）

民生委員・児童委員をしています。育ってきた時代が違うため、今、子どもたちはこんなことを学んでいるのかと、勉強になります。この場でみんなと会えることが楽しみで、子どもたちからエネルギーをもらっています。  
田村重之さん（69歳）

授業で交流。  
地域の人と一緒に  
楽しい時間。



みんなで育てた夏野菜たっぷりのカレー、おいしいね！（治田東小）

畑とともに野菜を育てる  
収穫した野菜は感謝のカレーに

市内各小学校では、子どもたちと地域の皆さんが交流する授業が展開されています。

治田東小学校では、毎年、2年生が生活科の授業で、校内にある畑で地域の皆さんに教えてもらいながら、一緒に野菜を栽培。約10㎡の畑は、開かれた学校を目指して、平成25年度に作られました。一緒に苗植えをし、収穫した野菜は、カレーパーティーを開き、日頃の感謝を込めて、皆さんを招待し、ともに味わっています。

7月13日に開催された「夏野菜カレーパーティー」には、スクールガード、放課後の子どもたちを見守る「チャレンジはるひがっこ」のボ

ランティア、民生委員・児童委員の13人の皆さんが招待されました。

クイズとカレーを楽しむ  
ともに過ごすひととき

まず、児童は、自分たちの学校や地域のよさを見つけて、クイズにして皆さんに発表。「タコ公園のすべり台の数は？」「平葉の長い道の横には何がある？」などの地域ならではのクイズで盛り上がりました。

カレーパーティーでは、畑で収穫した、トマト、ピーマン、ナス、ししとうがたっぷり入ったカレーが登場。食材は前日に児童が切りました。ともに育てた野菜を使ったカレーを囲みながら、ふれあいを深める時間になりました。



①5月の苗植え。身近な皆さんが野菜作りの先生②地域の人もクイズを出題③「みんなとゆっくり話せる貴重な時間。元気をもらっています」と地域の一人。

## 分団探検で大発見！案内してくれるのは地域の人



葉山小学校では、6月29日、「分団探検で大発見！葉山の『すてき！』や『ふしぎ？』を詳しく調べよう」と題した授業が行われました。

3年生が5班に分かれて保護者とともに地域を探検し、各場所、地域の人から話を聞きました。

大橋を巡るコースでは、慶崇寺で、大橋の歴史や伝統文化に詳しい大隅良次さんが説明。「仏教は、命の大切さや生きる目的を説いた教えであること。また、地域の文化を知ってもらいたい」と、堂内に続いて、境内にある、昔の住職が詠んだ「栗太八景」の碑文などを解説しました（写真）。

歩いて探検しながら、校外で学習した子どもたち。熱心にメモをとりながら、自分たちの住む地域を学びました。



登下校も安心。  
雨や雪の日も  
あたたかな見守り。



毎日、笑顔で「おはようございます！」(金勝小)

毎朝、多くの皆さんが  
登校する児童を見守り

毎日の登下校にも、子どもたちを見守る地域のあたたかなまなざしがあります。

金勝学区でも、毎日、多くの皆さんが子どもたちの安全な登校のために見守り活動を展開。その一人、山本正一<sup>まさいち</sup>さんは、毎朝、井上から山入の交差点まで約1kmを20分かけて、観音寺・井上に住む子どもたちに付き添います。「スクールガードとして8年前から見守りをしています。今、孫が1年生です。運動をかねて、毎朝一緒に歩いていきます。子どもたちが安全に元気に通学してくれることを願っています」と話してくださいました。

多くの児童が通る山入の交差点では、保護者や見守り活動をする地域の人の姿が見られます。「痛ましい交通事故を金勝で起こさないため、交通量が多い、この交差点に先々代の頃から毎朝立ち、みんなの安全を守っています」と語るのは、草津警察署金勝駐在所の岡田敏之さん。学校や地域と連携した活動が続きます。

小学校周辺で、先生とともに児童を迎えていたのは、西口智子さ

ん。10年間見守りを続け、子どもが高校生になった今も、滋賀県が委嘱する「おうみ通学路アドバイザー」として活躍中です。「地元で、娘の同級生が3歳の時に交通事故で亡くなりました。悲惨な事故をここで絶対に起こしたくありません。4月はじめには、通学路の点検をしました。何かあつてからでは遅く、危険箇所は学校や地域と情報共有し、改善を求めています」と安全な通学路を目指すための地道な努力が続きます。

## 青色回転パトロール車で 防犯活動

また、金勝学区では、平成24年から青色回転パトロール車での防犯活動を展開。金勝学区防犯連絡協議会 青色パトロール隊員8人が毎週、2人1組で交代でパトロールしています。草津警察署で講習を受けた隊員は、約1時間かけて、不審者がいないかなど地域を安全点検し、気付いたことを駐在所に報告。夏季と年末年始は、自治会長などもまじえ、4台の車で夜間集中パトロールもしています。

子どもたちを見守る多くのまなざし。地域の皆さんの活動が、子どもたちの安全を守っています。



①登校に付き添う山本さん。青色パトロール隊員の一人でもあります。②7月31日のパトロールは、澤九麻男さん(右)と大宮拓男さんが当番。「後継者の育成が課題です。多くの人に関わってもらい、今以上に活動が地域に浸透することが願います」。

平成30年4月からの

# 保育園・幼稚園・幼児園の入園案内

市立保育園・法人立保育園・小規模保育施設・市立幼児園（中・長時部）

## ■対象年齢

- 市立保育園・幼児園（中・長時部）：0歳児（生後6か月後）～5歳児
- 法人立保育園：0歳児（生後3か月後）～5歳児
- ※ただし、こだま乳児保育園は、0歳児（生後3か月後）～2歳児
- 小規模保育施設：0歳児（生後6か月後）～2歳児

## ■対象者

入園希望月の一日に、本市に在住し、市民として登録がある人

## ■入園基準（保育の必要性）

入園希望月に次の①～⑩のいずれかの事由に該当し、子どもに保育が必要な人が対象となります。対象となる場合は、保育の必要性について市が認定を行います。詳しくは、入園案内をご覧ください。

- ①保護者が就労により保育できない（4時間／日以上かつ16日／月以上）
- ②妊娠中である、または出産後間がない
- ③病気、または心身に障がいを持っている
- ④同居または長期入院などしている親族を常時介護・看護している
- ⑤災害復旧などに当たっている
- ⑥求職活動を継続的に行っている
- ⑦就学している
- ⑧虐待またはDVのおそれがある
- ⑨育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要である（出産後1年まで）
- ⑩市長が認める①～⑨に類する状態にある

## ■保育時間（保育必要量）

保育の必要性の認定を行う場合、同時に保育必要量について認定を行います。



▶市立保育園・法人立保育園・小規模保育施設・市立幼児園（中・長時部）

園名	区分	電話番号
金勝第1幼児園	市立	558-0250
金勝第2保育園	市立	558-0068
葉山幼児園	市立	552-0079
葉山東幼児園	市立	553-9102
治田保育園	市立	552-1079
治田東幼児園	市立	554-0054
治田西幼児園	市立	553-4651
大宝西保育園	市立	553-6990
こだま保育園	法人立	554-5262
グランマの家園保育	法人立	554-1744
こだまふれんど園	法人立	554-3239
治田西第3園	法人立	553-3907
こだま乳児園	法人立	554-0581
大宝カナリヤ園	法人立	552-2088
なないろ保育園	小規模	599-3200

保育必要量	市立保育園・幼児園（中・長時部）	法人立保育園	小規模保育施設
保育標準時間認定（最長11時間）	7時30分～18時30分	7時～18時	7時30分～18時30分
保育短時間認定（最長8時間）	8時～16時	保育園により異なります（詳しくは申込書に記載）	8時～16時

※原則的に保育を受けることができるのは、上記の時間に関わらず、就労などで保育が必要な時間です。

## 市立幼稚園・市立幼児園（短時部）

### ■対象年齢

3歳児～5歳児

### ■対象者

申込書提出時に、本市に在住し、市民として登録がある人

### ■申込み受付

乳幼児数の増加に伴い、限られた施設を有効に活用するため、就学を控えた4・5歳児の入園を優先することとします。このため、3・4・5歳児の入園申込みを10月に一斉に受け付け、先に4・5歳児のクラス数を決定します。

その後、各園における残りの保育室の状況に応じて3歳児の受け入れを行います。申込み人数が3歳児の受け入れ数を超えた園については、その園に申込みをされた当該通園区域内の全ての3歳児を対象として入園の抽選を行います。抽選となった場合は、10月末日までに郵送にて通知します。抽選がない場合は、通知はしません。抽選日は、通知をご覧ください。市ホームページにも掲載します。なお、抽選の結果、入園できない

かった人は、通園区域外で受け入れ可能な園に申込みができます。

園名	電話番号
金勝第1 幼児園	558-0250
葉山 幼児園	552-0079
葉山東 幼児園	553-9110
治田 幼稚園	552-2756
治田東 幼児園	552-1717
治田西 幼児園	553-4641
大宝 幼稚園	552-1698
大宝幼稚園分園	551-5242
大宝西 幼稚園	553-3788

▶市立幼稚園・市立幼児園（短時部）

### 利用者負担額（保育料）

保育園・幼稚園・幼児園の平成30年4月から8月までの利用者負担額は、子どもの各扶養義務者の平成29年度の市町村民税額の合計額により算定します。

平成30年9月から平成31年3月までの利用者負担額は、子どもの各扶養義務者の平成30年度の市町村民税額の合計額により算定されます。詳しくは、入園案内をご覧ください。

※市立保育園、幼児園（中・長時部）、法人立保育園、小規模保育施設は、いずれに入園しても、同じ額となります。

※保育短時間認定の利用者負担額は、保育標準時間認定の利用者負担額の4分の3の額です。

## 申込書の交付・受付の日時と場所

- 時間：8時30分～17時
- 場所：各保育園、幼稚園、幼児園、幼児課

※小規模保育施設での受付はできません。

※施設見学を希望する人は、事前に各園へ電話でお問合せください。

※保育の必要性に応じて入園申込みの判断をすることから同一世代では、保育園・幼児園（中・長時部）・小規模保育施設と幼稚園・幼児園（短時部）との両方に申し込むことはできません。

※現在（平成29年度中）、保育園・小規模保育施設・幼児園・幼稚園に在園している園児も、申込みが必要です。

※入園基準に該当すると認められない場合や、受け入れ可能人数を超えた場合は、入園できないことがありますので、ご了承ください。

### 問 幼児課

☎ 551-0424 FAX 551-0149  
または各園へ

申込対象園	申込書交付日	申込み受付日
市立幼稚園 市立幼児園（短時部）	9月25日(月)～ 9月29日(金)	10月10日(火)～ 10月13日(金)
市立保育園 法人立保育園 市立幼児園（中・長時部） 小規模保育施設		10月16日(月)～ 10月20日(金)





# 9月は同和問題啓発強調月間

毎年9月は「同和問題啓発強調月間」です。この期間に合わせて滋賀県内各地では、同和問題への理解と認識を深め、部落差別をなくしていくために、さまざまな啓発事業が行われます。

この機会に同和問題について考えてみませんか。

## 部落差別は過去のこと？

同和地区の所在を問い合わせたり、インターネット上で差別を助長するような書き込みなどが氾濫したりと、部落差別は、決して過去のものではありません。

自分の能力や人柄とは関係なく、同和地区と呼ばれる地域出身であることや、その地区に住んでいることを理由に結婚を反対されたり、就職や日常生活でさまざまな差別を受けるなど、今なお、基本的な人権が侵害される状況があります。

なぜ、生まれたところや住んでいるところだけを理由に差別を受けないといけないのでしょうか。



## 部落差別解消推進法を知っていますか？

「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」が平成28年12月に施行されました。

この法律では、「現在もなお部落差別が存在する」との認識を示し、「日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものである。部落差別を解消することが重要な課題」としています。

## 何を求めているの？

これまでの同和对策事業の根拠となっていた特別措置法は、同和地区の環境改善が主な目的でした。

今回の部落差別解消推進法は、差別の解消が目的で、「国民の理解を深めるよう努め、部落差別の

ない社会を実現する」と明記しています。

国と地方公共団体が連携し、部落差別に関する相談体制を充実させ、部落差別を解消するための教育や啓発を行うよう努め、実態調査を行うものとしています。

## これから何をすればいいの？

今も部落差別によって悩み、苦しい思いをしている人がいます。

そのうち差別はなくなると言っても、このまま何もせず放っておいてよいものではありません。

私たち一人ひとりがまず同和問題を正しく理解すること、そして同和問題を自分の問題として考え、差別を「しない」から差別を「なくす」意識を持って行動することが大切です。

## 法律ができたけれど…

昨年、「障害者差別解消法」や「ヘイトスピーチ解消法」など、個別の人権課題を解決するための法律が次々と整備されてきました。部落差別、障がい者差別、外国人差別に限らず、あらゆる差別や偏見に基づく行為は、他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されないものです。

それは法律が整備されていても、されていなくても、日本国憲法に規定された、基本的人権を尊重することにほかなりません。

これからも、私たち一人ひとりが差別をなくす主体者として行動することで、すべての人の人権が守られた「輝く未来」をつくりましょう。

閩人権政策課 同和政策係

☎ 551-0108 FAX 554-1123





## 非常災害用井戸に 登録ください

災害などの発生により水道が長期間断水となった場合、市は給水活動を行います。トイレ・掃除などの生活用水は、地域の皆さんに無償で提供いただける井戸が重要な役割を果たします。

家庭や企業が所有している井戸がありましたら、非常災害用井戸の登録にご協力ください。

学 区	登録数
金 勝	16
葉 山	11
葉山東	0
治 田	3
治田東	1
治田西	1
大 宝	4
大宝東	1
大宝西	9
計	46

▶平成29年7月現在の登録状況（うち企業登録2か所あり）



▲登録証（近隣から見える所に掲示をお願いしています）

問 上下水道課 浄水係  
☎ 551-0134 FAX 554-3866

## 「栗東市いきいき活動ポイント事業」活動の輪が拡大中

昨年10月から開始した「栗東市いきいき活動ポイント事業」。8月1日現在で212人がボランティアとして登録し、活発に活動しています。1年間の活動を間もなく終え、10月からポイント交換（ポイント数に応じてマロンカード加盟店や作業所の買い物券に交換、もしくは善意銀行や団体へ寄付）が始まります。

活動に登録するには説明会への参加が必要です。皆さんもボランティアとして登録し、施設での活動、地域の高齢者サロンやいきいき百歳体操の運営支援、ごみ出しなどの在宅生活支援に取り組んでみませんか。

●説明会（研修会）を開催

・日時：10月3日（火）

10時30分～12時

・場所：なごやかセンター

・申込み：栗東市社会福祉協議会 ☎ 554-6105

※登録済みの人がこの研修に参加した場合、手帳にスタンプが押印されます。

問 長寿福祉課 高齢福祉係

☎ 551-1940  
FAX 552-9320

## 大切な人や自分の最期を考えませんか

「生き方カフェ」で語り合いましょう

「大切な人や自分の最期を考え見つめる集い」として平成25年度から「栗東市介護者の会」と共催で「生き方カフェ」を開催しています。

テーマは「大切な人と自分の最期を考え見つめること」や、「今

11月18日（土）、「さあ来い！ 老後」フォーラムを開催

周りの人や自分の最期を考え見つめる人を一人でも増やそうと、平成27年度から栗東芸術文化会館さくら中ホールにてフォーラムを開催し、毎回200人以上の参加があります。

今年は11月18日（土）に開催し、講師として花戸貴司さんをお招きします。花戸さんは東近江市永源寺診療所の所長であり、地域に根ざした「在宅医療」を実施しています。

「自宅でご家族や地域の人びとに囲まれて生活したい」「住み慣れた自宅で最期を迎えたい」と思っている皆さんを支援されており、平成27年度に開催した、シンポジウムの写真展のモデルでもあ

を自分らしく生きること」。市民

と医療・福祉の専門家がともに語り合う栗東市の唯一の場で、自分なりの生き方や旅立ち方の風景を描いてみませんか。

どんな最期を迎えたいのか、そのためには今をどう生きていくのか…。この機会に、自分を見つめ直してみませんか。

ります。

皆さん、ぜひご参加ください。

フォーラムに向けて、市民の皆さんを中心とした、実行委員が頑張っています。



問 地域包括支援センター

☎ 551-0285 FAX 551-0548

# 「屋外広告物クリーンキャンペーン」を実施

■9月1日～10日は「屋外  
広告物適正化旬間」

国土交通省の設定により、県下一斉に「屋外広告物クリーンキャンペーン」を実施します。

市では、期間中にパトロール、違反広告物に対する是正指導、簡易除却などをします。市内で広告物を所有・管理している人は、この機会に安全点検をし、老朽化による倒壊や落下などの恐れのあるものは、撤去や改修などの適切な措置をしてください。

■屋外広告物とは…

ポスター、はり紙、立看板など、屋外に設置され、公衆に向けられて、常時または一定期間継続して表示された広告物です。営利を目的とするものに限りません。

屋外広告物を掲出するには、許可が必要です。必要な許可を得ていない場合は違反広告物となります。

岡都市計画課 景観・まちづくり係

☎551-0116 FAX 552-7000

## 防災関連資機材の 寄贈を受けました



8月9日、滋賀県電気工事工業組合より、LEDヘッドランプ5台と防滴メガホン7台を防災関連資機材として寄贈いただきました。これは、本市の安全・安心なまちづくりを願って寄贈いただいたものです。

市では、平時から災害時対応物資などの整備を行っています。

今回、滋賀県電気工事工業組合から寄贈いただいた、防災関連資機材も、有効に活用させていただきます。



## 市長からのメッセージ

市民の皆さまへ

### 災害に強いまちを目指して

9月1日は防災の日です。本市は平成25年の台風第18号により甚大な被害を受けました。また、本年8月上旬に日本列島を縦断し、大雨・暴風をもたらした台風第5号は記憶に新しいと思います。対応していたいただいた皆さまのご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

災害に備え、市では、同報系防災行政無線や緊急通報メール、防災・防犯情報配信システムなどで皆さまに情報提供できるよう努めています。また、防災訓練の実施、防災士の育成など、自治会や自主防災組織との連携を深め、助け合う地域づくりを目指しています。あわせて、湖南4市との相互応援・連携協定や、地元企業や関連団体との災害時の応援協定の締結などにより、市全体の防災力・減災力を高めるために取り組んでいます。

「栗東市総合防災マップ」は、市内で発生が予想される災害に対する知識と備えをまとめています。

ので、ぜひご活用いただき、日頃から災害への備えをお願いします（市ホームページにも掲載）。

またまた台風シーズンは続きます。万が一の際、被害を最小限に抑えるには、行政・消防機関による救助や救援などの「公助」はもちろんのこと、市民の皆さん一人ひとりが、自分の身を自分の努力によって守る「自助」、また地域で互いに協力し合う「共助」の有効な連携が必要です。市全体・地域全体で災害に強いまちづくりを進めていきましょう。



▲「栗東市防災総合訓練」で市の防災力を強化

栗東市長

野村昌弘





## 子育て情報

### ～就園に向けて～

子どもが入園を迎える時期が近づくと、親は、衣服の着脱や食事、トイレの自立など、自分で「できる」「できない」に目を向けてしまい、「入園までに〇〇ができるようにならないと」とあせる気持ちが出てきます。

生活習慣の自立に向けて、毎日の生活の中で大人が丁寧な関わりをし、少しずつ自分でできることを増やしていけるといいと思います。できた時は「がんばったね」「ここまでできるようになったね」とたくさん褒め、子どもに自信をつけてあげることが大切です。できなくても「今度また一緒にできるようにがんばってみようね」と励まし、支えてあげましょう。

「こんなこともできないの」という否定的な言葉は絶対に使わないようにしましょう。おおらかな気持ちで子どもを受けとめ、良い所を見つけて伸ばしてあげられるといいですね。

子どもは、親に褒められたり認められたりすることで「自分は親に大切にされ、愛されている存在なんだ」と実感します。これが子どもの自尊心につながります。

そして園にはお友達がたくさんいて、おもちゃや絵本がありとても楽しい所だと伝え、子どもが期待できる言葉がけをしてあげてください。親子が、愛着や信頼関係で結ばれ、家庭が子どもにとって安心できる場所になることが、一番大切です。それが家庭以外の集団生活という新しい世界で、その子らしくいられることを支えるのです。



#### 園地域子育て支援センター

- ・大宝東児童館内 ☎ 551-2370 FAX 551-2330
- ・治田西カナリヤ第三保育園内  
☎ 553-3907 FAX 553-3908
- ・金勝児童館内 ☎ 558-3527 FAX 558-3527
- ・治田東児童館内 ☎ 554-6115 FAX 554-6116

### ～CO<sub>2</sub> 排出権取引のもうけ話に乗らないで～

**Q** 自宅に訪問してきた業者から、「投資に興味はないか。必ずもうかる」とCO<sub>2</sub> 排出権取引に関するもうけ話の勧誘を受けた。仕組みはよくわからなかったが、業者に言われるまま 100 万円を支払った。その後、値上がりしていると勧誘され、追加で 250 万円増資した。最近、価値が無くなると業者から連絡を受けて動揺している。

**A** 業者の資料などによると、CO<sub>2</sub> 排出権そのものを取引しているのではなく、CO<sub>2</sub> 排出権の差金決済(有価証券の受渡しを行わず、売りと買いの差額の授受による決済)取引を行っているものと考えられます。これは、預けたお金の何十倍もの取引を行うため、多大な損害を被ることもあるハイリスクな取引で、プロの投資家にとっても複雑なものです。知識や経験のない一般の消費者は、絶対に手を出してはいけません。取引するつもりがなければ、はっきり断りましょう。

園自治振興課 消費生活相談窓口

☎ 551-0115 (局番なし188) FAX 551-0432  
滋賀県消費生活センター ☎ 0749-23-0999



## 草津警察署安全伝言板

### 秋の全国交通安全運動

9月21日(木)から30日(土)までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。

<全国重点活動>

1. 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
2. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
3. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
4. 飲酒運転の根絶

また、秋の全国交通安全運動期間最終日の9月30日(土)を「交通事故死ゼロを目指す日」としています。交通事故のない安全安心な滋賀を目指し、交通マナー向上の輪を広げましょう。

園草津警察署 交通課

☎ 563-0110 FAX 563-0116



▲全国最大級の笠形木製品

# りっとう 再発見 ⑬①

## 全国最大級の笠型木製品を 発見～椿山古墳～

岡出土文化財センター

☎ 553-3359 FAX 553-3514

今年2月から3月にかけて発掘調査を行っていた椿山古墳（古墳時代中期で滋賀県最大の帆立貝形前方後円墳）の周濠から、大阪府羽曳野市菅田御廟山古墳（応神天皇陵）出土品の次に大きい、全国最大級の笠形木製品が出土しました。

笠形木製品はいわゆる木製埴輪と呼ばれるもので、貴人の日傘を模したものとされています。全部で6点出土し、いずれもコウヤマキという木材を使用していました。コウヤマキといえは古墳の棺桶に使用する木材として知られています。

形は中央が盛り上がった平面楕円形をしたもので、全国最大級のもの2点あります。長径76cm・短径64cmと、長径75cm・短径69cmのものです。中央にある穴は笠を立てるための柱を差し込むためのものです。大きい笠を立てるには相当な太さをもつ柱であったことが推定されます。

ちなみに笠形木製品は現在全国で313個出土しており、奈良県の出土が約7割を占め、次いで滋賀県の例が多く2割、大阪・京都合わせても1割程度しか出土していません。大きさの話にもどると、長径が70cm以上



▲椿山古墳の周濠内作業

のものは全国で6例しかなく、60cm以上についても菅田御廟山古墳、椿山古墳、土師ニサンザイ古墳（大阪府堺市）出土の計10例しか存在しません。滋賀県の出土例では、野洲市林ノ腰古墳（全長75mの前方後円墳）から出土した約40cmのものが最大でした。最も多いものは30～40cm程度のものです。

椿山古墳出土例は、大きさのほかにも内側を丁寧に円形にくり抜く技術的な特徴が菅田御廟山古墳のものと非常によく似ている点から、大王の「木製埴輪」づくりにかかわっていた集団との関連が想定できます。

滋賀県の材木は都に運んでいたことで知られていますが、古墳時代から大和政権と近江の栗太郡周辺が密接につながっていたことを証明する貴重な発見であったといえます。

### 《治田東幼稚園》「今日もありがとう」

「毎日、今日もありがとう」と思う気持ち、子どもたちにも伝えていきたいです。



毎朝全園児が集まって「体操」をしています。5歳児は、2・3歳児クラスの友達をテラスまで迎えに来て、体操をする園庭まで一緒に連れてくれます。

初めは声が掛けつらくて戸惑っていた5歳児ですが、今では「一緒にいこう」と声を掛けて、手をつないだり、名前を覚えて「○○ちゃん、おはよう」とこやかに誘ったりする姿が見られるようになりました。迎えに来てもらったクラスの担任は、「お兄ちゃん・お姉ちゃんが来てくれたね」「誘ってくれてありがとう」と、子どもたちの橋渡しをしています。

「毎日のことだから当たり前」ではなく、「今日もありがとう」と思う気持ち、子どもたちにも伝えていきたいです。

☎ 551-0424  
FAX 551-0149

岡幼稚園

くりちゃん元気いっぱい運動 第3弾  
\*ありがとうが言える子育て ④②\*





# キラリ☆りっとう

## 今月のキラリ★ブランド

### 環境こだわり米「みずかがみ」



環境こだわり農産物をご存じですか。種子や苗が遺伝子組み換えでないこと、化学合成農薬や化学肥料を削減するなど県の基準に従って生産を行い、琵琶湖をはじめとする自然環境に配慮した、安全・安心な農作物の認証です。

この季節の農産物といえばお米。栗東市でも農業者が丹精こめて作った環境こだわり米が続々と収穫されています。

近年人気が高まっているのは「みずかがみ」という品種。「みずかがみ」は平成27・28年産と食味ランキング2年連続特Aの評価をされたことでも知られています。滋賀県で開発されたお米で、環境こだわり農産物の栽培基準で生産されることが義務付けられています。

環境こだわり農産物には認証マークが付いていますので、買い物の際に注目してみてください。

園農林課 栗東ブランド推進係

☎551-0124 📠551-0148



## 今月のキラリ★企業

### 栗東総合産業株式会社

■住所…十里244 ☎552-1711(代) 📠553-4710

■ホームページ…<http://www.ritto.co.jp/index.html>

■栗東さん WEB サイト…<http://rittosan.com/>



運輸事業、FC事業（釣具店、とんかつ店）、競走馬育成・調教、乗馬クラブなどの事業を行っています。

当社は昭和37年の創業以来、地域の人たちの生活を支える企業を目指し、「地域オンリーワン企業」のスローガンを掲げ、事業を展開しております。廃棄物関連事業を中心として排水処理、馬関連事業など、今後は海外でも事業展開をすることを目指しています。

子どもたちの声からイベント開催▶

時代が変革するとともにライフスタイルの多様化が進み、地域のニーズも変化してきました。原点に戻り、一番大切な栗東市の皆さまに喜びと安全、安心を提供できるサービス確立のためプロジェクトチームを立ち上げ、検討を開始しました。今年3月には、常にお客さまの声やニーズが直接聞ける関係構築を目指して「栗東さん」ブランドを立ち上げました。WEBサイトやSNSをとおして情報を発信し、地域のニーズを集めサービスへと昇華する流れを作ってきました。

7月は、子どもたちの「パッカー車の構造を詳しく見てみたい」の声から、「大解剖！パッカー車の仕組みを見てみよう」と題して、環境教育にもつながるイベントをしました。これからは栗東の発展やより良い生活に貢献できるよう励んでまいります。



## 楽しく、子育て 0歳児親子が集合

7月13日（ひだまりの家）

市内の子育て関連施設による協働で、0歳児の親子を対象にした子育てイベント「にこにこ広場」を開催しました。手作りおもちゃ、ふれあい遊び、身体測定などのコーナー、離乳食や子育てに関する相談もあり、集まった親子が楽しいひとときを過ごしました。



7月13日（金勝地域）

栗東100歳大学の第1期卒業生「<sup>にはち</sup>28会」が、さまざまな活動を展開中です。この日は、健康維持・向上を目指し、2本のポールを持って歩く、ノルデック・ウォークを企画。御園にある活動拠点から九品の滝を往復する約4kmのコースで爽やかな汗を流しました。

## 金勝路をノルデック・ウォーク



7月15日（かたつむ邸）

目川・岡の交流拠点として開設され、龍谷大学社会学部の実習の場にもなっている「かたつむ邸」が開設5周年を迎えました。この日は、学生と集まった地域の皆さんらが、ほっこりまつりなど5年間の交流活動を振り返りながら、語り合いました。

## 「かたつむ邸」が5周年

7月18日  
（治田東幼稚園）

治田東小学校が治田東幼稚園に、サルビア、ペゴニア、マリーゴールドの苗植えをしたプランター15個を贈りました。

これは、小学校の地域貢献活動の第一歩として、花をとおして地域との交流を深めようと、行われた企画。「大切に育ててね」と、5年生が園児に手渡しました。



## 児童と園児が花で交流



7月26日（さくら）

じんけんセミナー栗東で「おぐねー」の愛称で親しまれている、ヘアメイクアップアーティストの小椋ケンイチさんが、同性愛者である自身の思いや体験をメイクアップアドバイスを交えて講演。性の多様性について考える機会となりました。

## 自分らしく生きるために





## 故人の思い、野染めに挑戦

7月21日（第二栗東なかよし作業所）

第二栗東なかよし作業所で、利用者らが自然の草花からとったさまざまな色を使った野染めに挑戦しました。野染めは、作業所の観音寺窯で「ランチ会」などを企画し、作業所や集う人たちを愛した、故・永田純子さんの思いを実現したものの。参加者は、染色家・斎藤洋さんを講師に、点・線・面を自由に描き、色と色の出会いから、世界で一つの作品が完成しました。



## 夏休みに カブトムシの運動会

7月22日（栗東自然観察の森）

虫に親しむ体験から、子どもたちに命の大切さを感じてもらおうと、栗東市シルバー人材センターによる「カブトムシ運動会」が開催されました。子どもたちは、持って来た自慢のカブトムシを100cm走、木登り、綱わたり、木登り相撲の4種目で競争。60人を超える参加者が、繰り広げられる熱戦を見守りました。

## 廃油を活用し、 アロマキャンドル作り

7月28日（コミュニティセンター大宝東）

環境保全のために活動する「循環型社会創造研究所 えこら」による、アロマキャンドル作り教室が開かれました。キャンドルのロウは、えこらが回収した廃油に、クレヨンを溶かしたもの。子どもたちは、6色から好きな色のロウをピンに入れ、水で冷やして固めることを繰り返しながら、個性豊かなキャンドルを完成。廃油が新しい形で生まれ変わりました。



# 輝く栗東人

**■活動を始めたきっかけ**  
 グループが結成されたのは、平成26年。高校卒業後、ブラジルに2年間サッカー留学し、海外の自由な雰囲気の中でサッカーを楽しんでいた代表の駒崎太一さん。帰国後、「もっと子どもたちがのびのびとサッカーを楽しめる場があったら。まずは自由な雰囲気でのフットサルで、ボールを蹴る楽しさを感じてもらいながら、頑張る子どもをサポートする環境をつくりたい」の思いからフットサルグループを立ち上げ、活動が始まりました。

**■現在の活動内容**  
 活動日は、毎週2回。年齢別に木曜日は19時から栗東中学校体育館で、日曜日は17時から栗東トレーニングセンター厚生会館で、2時間、汗を流しています。日曜日の19時から21時は治田東小学校グラウンドで屋外練習も開催。試合に出ることよりも、「楽しい」を重視し、現在のメンバーは5歳から中学生までの60人で、大人の参加もあります。のびのびとした練習は評判になり、県外からも子どもたちが集まっています。

## フットサルの楽しさをまち中に広める



### ROSE RITTO

子どもたちにフットサルやの楽しさを広めるために活動中。昨年の「ボランティアなごやかまつり」では、体験ブースを設置。

7月は、一般社団法人スポーツ能力発見協会が全国で開催する「DOSAスポーツ能力測定会」に協力。6種類の測定結果による自分に合ったスポーツアドバイスから、子どもたちが夢に向かって挑戦するきっかけをつかんだ（写真下）



※詳細や問合せは ☎090-8790-1361 (駒崎)

**■ひとことメッセージ**  
 フットサルだけでなく、サッカー、水泳、乗馬など、多様なスポーツをしている子どもたちが集まっています。そんなメンバーが集うことで、お互いに刺激になると考えています。  
 4月に草津市で、特産品の野菜をテーマにした仮装をし、ギネス世界記録に挑戦するイベントが開催されました。このイベントにも、みんなで衣装を手作りし、参加しました。フットサルの楽しさだけでなく、さまざまな体験やふれあいにより、子どもたちが成長してくれればうれしいです。

創業 35 年 まごころこめてお手伝い

### 滋賀ペット葬儀社



栗東セレモニーホール 年中無休

お迎え・個別火葬・納骨供養

日本ペットランド 栗東市坊袋207-1

077-554-5515

#### 広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(8月1日現在) 人口68,515人 男34,178人 女34,337人 前月より11人増 世帯数27,005世帯

この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。